

（７）管理運営の方向性

ア 目標

公共施設集約化による効果を市民サービスの向上に繋げ、新たな出会い、ふれあい、賑わいを創出し、市民の交流を促進するとともに、質を確保した安全・安心な施設サービスを提供します。各施設の特性を活かしつつ、複合施設として一体的な管理運営を目指します。

イ 基本的な考え方

（ア）複合施設の特性を活かした市民交流の促進と利便性の向上

- 複数の公共施設を集約化し、多くの利用者が集い、活動し、交流の場となることから、利用者視点に立った「わかりやく、使いやすい」施設とするとともに、ボランティア等の市民の参画による市民交流の促進も目指します。
- 施設の中央部には、施設の「顔」となる共用空間を配置し、シンボリックな空間とするとともに、高い機能性と視認性を有した空間とすることにより、利便性の向上を図ります。
- 施設内の空間・サービスについては、全体で共用するものと各々の施設で専用するものの役割分担を整理し、市民が利用しやすく、効率的な施設サービスを提供します。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① エントランスのある共用空間を活用した総合案内を設置② ICTを活用した施設情報の一元的管理による的確な案内と誘導③ 施設の空き時間を相互利用することによる利便性の向上④ 会議室や保育室機能を集約化することによる効率的なサービス提供 |
|--|

（イ）質の確保と安全・安心な施設サービスの提供

- 機能が多岐にわたる複合施設となることから、最適な管理運営体制を構築し、各施設におけるサービスと施設全体のサービスの質を確保しつつ、利用者満足度の向上を図っていきます。
- 各施設の利用時間帯や利用方法も異なることから、原則、フロアごとに施設を配置し、セキュリティを確保するほか、休館日の統一も検討し、安全・安心な施設管理を行います。

- 災害対策本部が設置され施設全体が防災拠点となることから、非常時における各施設の役割を整理し、施設全体が有機的に連携するような管理運営体制を構築します。

- ① 利用者の意見を施設運営へフィードバックする柔軟な運営
- ② モニタリングによる安定的・継続的なサービスの履行を確保
- ③ 各施設区分のセキュリティの確保
- ④ 非常時における各施設の有機的な連携

ウ 業務区分（案）

建築物・設備の保守、清掃、警備など、各施設に共通する維持管理に、「健康・スポーツ拠点」等の運営も加えた包括的な施設管理を指定管理者の業務とします。また、その他の施設については、専門性・公共性が高いことから、各施設での活動実績や業務の特性を踏まえて、市の直営、業務委託、指定管理者制度の導入を検討していきます。なお、相互利用が可能と想定される主な施設（P. 37）については、空き時間などを中心に、施設全体の会議室として利用することを検討しており、活動状況や公用利用とのバランスを考慮しながら、最適な業務区分について検討を進めていきます。

施設名等	業務区分		
	運営	維持管理等※	総合受付
防災課	市	(業務委託)	指定管理者
社会教育会館	市		
福祉会館	業務委託・指定管理		
総合保健センター	市		
北野ハピネスセンター (幼児部門)	市		
スポーツ施設			

※維持管理等は、施設の清掃、警備、保守点検のほか、公園、駐車場の管理業務等です。